



エルム



vol.77

発行日：令和6年5月17日

編集・発行／社会医療法人 北楡会 札幌北楡病院 広報委員会 責任者／太田 秀一

HOKUYU INFORMATION

2024 新年度のご挨拶

新年度が始まり、早くも5月を迎えるこの時期、遅ればせながら皆様に心よりのご挨拶を申し上げます。

新年度になって国内では様々な変革が始まり、医療界で最もHotな話題は医師の働き方改革です。過去を振り返って、昭和には「24時間戦えますか?」というフレーズからも、当時の社会全体が長時間労働や睡眠不足、休暇がほとんどない状況が当たり前でした。医療現場の労働環境も同様に多くの医師が24時間365日対応で患者さんの診療に当たっていました。大変な時代でしたが、活気があり精力的に仕事をし、そしてストレス発散で遊びも思いきりと、仕事に遊びに忙しい全力な時代でもありました。もちろんダークな面も皆様ご存知の通り…。特に勤務医の劣悪な労働条件において、時間外診療に対する十分な手当ては無いどころか、時間外診療は医師の自己研鑽と見なされ、各医師の奉仕の精神によって日本の医療は成り立っていたように思います。また、これまでは宿日直をした翌日も連続で通常業務があり、不眠不休で32時間以上の連続勤務もままありましたが、改革では「始業から24時間以内に9時間の連続した休息时间、または始業から46時間以内に18時間の連続した休息时间」を確保すると義務づけられました。以前のような労働環境は医師自身の健康を損なうだけでなく、疲労やストレスによるミスや判断ミスが発生しやすく、患者さんへの安全な医療提供が難しくなるのは当然です。現在では労働時間の短縮や定期的な休息の取得、休暇の充実に加えて適切な時間外手当の支給など、徐々に労働環境は改善されつつありますが、北海道では慢性的な医師不足もあり、まだ多くの課題が残っています。今回の医師の働き方改革では医師の時間外労働時間は原則として年960時間、月100時間未満に制限されますが、毎日4時間の時間外診療に加えて土日および休日診療を行った場合、この基準を超えてしまいます。なお、私たち専門医は最高の医療を時間内に提供するため日々効率の良い労働を目指しておりますが、意図しない救命救急には24時間対応が求められます。したがって、当院においては一定の医師数で前述の基準を確実にクリアしながらも、これまで同様に最善の医療を患者さんに提供していくためには、各場面において医師のみならず各種専門職員が様々な役割で診療に関わっていきますので、皆様のご理解ご協力の程宜しくお願いいたします。

副院長 太田 秀一

◆特集

各科医師のごあいさつ

新任医師のご紹介

新採用看護師のご紹介

病院理念

患者さんにとって最適な医療を行う

病院基本方針

1. 患者さんに公正な医療を提供します。
2. 患者さんの権利を尊重し、分かりやすい医療を行います。
3. 患者さんの安全を保障し、快適で安心して治療に専念できる場を提供します。
4. 高度医療を積極的に推し進めます。

各科医師のごあいさつ

後藤 順一

外科

外科は一般外科、消化器外科、血管外科、透析などを中心に幅広く診療を行っています。メンバーは米川元樹、目黒順一、服部優宏、小野寺一彦、堀江卓、高橋宏明、熱田義顕、後藤順一、谷山宣之、佐藤正法、北健吾、太田拓児、松本嶺の13名です。大きく透析・血管外科チームと消化器外科チームに分かれて専門的治療を行っています。

透析関係では日々の透析管理はもちろんのこと、バスキュラーアクセス(いわゆるシャント)の作製や修復手術、透析管理を行っています。シャント手術は熱田先生を中心におこなっており、腎臓内科の山田先生にも多くの手術を担当していただき年間千例に到達する勢いで増加しています。血管外科では特に慢性下肢虚血の患者さんに対する治療が多く、治療法として手術治療やステント治療、アフレーシス治療、高気圧酸素療法など様々な治療法で対応しております。

消化器外科では消化器科と連携し様々な消化器/腹部疾患についての治療をしています。特に当院には日本内視鏡外科学会の技術認定医が3名(服部、後藤、佐藤)在籍し、市中病院では類を見ない厚い体制で内視鏡外科手術を施行しております。手術支援ロボット(ダヴィンチ)使用の手術例も徐々に増えてきており、今後もより高度で安全な医療を提供してまいりたいと思います。

肛門外科

小野寺 一彦

肛門外科の新年度からの外来は小野寺、堀江、高橋が週2～3回担当し、宮下先生と山内先生は火曜日の午前の担当になります。そして申し訳ありませんが土曜日は休診になります。また当科では昨年末から肛門鏡画像が電子カルテに取り込まれるようになり、患者さんへの説明やスタッフ同士の情報共有に役立てています。手術は昨年と同様に常勤の小野寺、堀江、高橋で担当します。

便秘症は本来消化器内科や一般内科の疾患ですが、肛門疾患との関わりから当科にも患者さんが多いです。中には摘便が必要な糞便塞栓もあります。消化器外科専門の病院では糞便イレウスや宿便性腸穿孔などを稀に経験しますが、それ以前の便通管理について思いを馳せることはあまりなかった気がします。摘便症例や摘便で肛門外傷を負う患者は家庭だけでなく施設や病院各科にもおられ、難しい問題だと実感しています。

今年も肛門疾患や便秘にかかわる関係各位様、よろしくお願い申し上げます。

腎臓移植外科・泌尿器科

三浦 正義

当科は、腎泌尿器疾患全般および腎移植診療を担当しています。泌尿器疾患診療における特色として、2019年に国内で初めて導入した前立腺癌の低侵襲治療「TULSA(タルサ)」、2023年に導入したMRI融合前立腺針生検システム「KOELIS TRINITY(コエリス トリニティ)」、前立腺肥大症に伴う排尿障害の治療システム「ウロリフト(植込み型前立腺吊り上げ術)システム」による高度な前立腺疾患診療に取り組んでおります。

腎移植診療においては、北海道内7施設、札幌市内4施設のみの腎移植医療機関の一端を担っており、末期腎不全の根治的治療を提供し、医師のみならず移植コーディネーターによる充実したサポートにより安心した診療を受けていただいております。

現在当院では腎臓病総合医療センターを開設し、末期腎不全に対する治療方法の3本柱である腎移植、血液透析、腹膜透析の全てを複数の診療科・他職種連携のもと包括的、かつシームレスに提供できる体制を整備しております。

血液内科

杉田 純一

血液内科は令和6年3月末に今村雅寛先生(昭和48年卒)、野津麟太郎先生(平成31年卒)、小津峻佑先生(平成31年卒)の異動がありましたが、新たに2名が加わり、令和6年4月からの病棟診療体制は杉田純一(平成13年卒)、岡田耕平(平成16年卒)、小笠原励起(平成20年卒)、日高大輔(平成23年卒)、梶川清芽(平成29年卒)、相庭昌之(平成31年卒)、高橋知希(平成31年卒)、野島慎悟(令和2年卒)の8名となっています。外来については、上記メンバーに加えて、副院長の太田秀一先生(平成2年卒)、小笠原正浩先生(昭和57年卒)小林直樹先生(昭和58年卒)、さらに北海道大学病院血液内科の医師も出張医3名も加わり、14名での診療を行っています。

札幌北榆病院の血液内科は常時120-130床の入院診療を行っており、全国でも有数の病床数を誇っております。また全室個室であることは入院患者さんのストレス軽減は感染症管理においても大きな利点であり、血液疾患の治療を行う上で非常に良い環境といえます。急性白血病、悪性リンパ腫、多発性骨髄腫など血液悪性疾患に対する化学療法、同種移植・自家移植など積極的に行っておりますので、今年度もよろしくお願いたします。



消化器内科

片桐 雅樹

消化器内科は、消化管疾患、肝疾患、胆膵疾患を担当しています。早期胃癌・早期大腸癌に対しての内視鏡的粘膜下層切開剥離術、消化器癌に対する化学療法、炎症性腸疾患に対する血球除去療法などにも対応しています。また外科治療の適応疾患については外科と密に連携しています。今年度は、昨年度に引き続き、片桐雅樹、野村眞守美、大泉弘子、高野眞寿、佐賀啓良、齋藤雅雄の6名で診療にあたっています。その内、片桐、野村、大泉が入院患者を担当します。日本消化器病学会指導医4名、専門医2名、日本消化器内視鏡学会指導医4名、専門医2名、日本肝臓学会専門医2名で、質の高い医療を目指しています。なお、診察は予約制で、新患対応は平日午前中とさせていただいております。また、新型コロナウイルス(COVID-19)感染症が2類から5類に変更になりましたが、内視鏡検査・治療にあたりましては、日本消化器内視鏡学会のガイドラインに沿って、引き続き感染対策を行いながら、必要な検査・治療を行っています。

小児思春期科

小林 良二

当科では従来通り、小児・思春期血液腫瘍の患者さんを中心に診療を行っております。もちろん、それ以外の患者さんも外来診療を行っており、最近では起立性調節障害の患者さんの外来受診も増えています。入院に関しては急性感染症の患者さんも可能で個室のメリットをいかしてご家族にもストレスなく過ごしていただくように配慮しております。また、4月より山形大学より石垣隆介先生が赴任されており常勤医6名体制となりました。より高度できめ細かい医療を提供できるよう尽力いたします。

整形外科

東 輝彦

今年度も常勤医3人体制で診療しています。大野医師は、上下肢の疾患、骨粗鬆症に対して幅広く治療にあたっています。東医師は股関節疾患を中心に対応しております。手術治療では、慢性疾患の変形性関節症に対しての人工関節置換、骨折には骨接合術、大腿骨頸部骨折に対しては人工骨頭挿入術等が主な内容です。高橋医師は非手術症例を担当しています。脊椎専門医不在となって1年経過しましたが、当科での診断、治療には限界があり、精査を含め“他院への紹介”となっております。

麻酔科・緩和・ペインクリニック科 沼澤 理絵

麻酔科は昨年度と同様、高島史樹先生と私の2名体制で診療を行います。2023年1月から12月までの全身麻酔手術件数は396件でした。手術麻酔の他に、救急集中治療や緩和医療、ペインクリニックを担当しています。ペインクリニックは毎週水曜日に沼澤が外来診療を行っています。

全身麻酔手術に関しては、新型コロナの影響が長期間続いており、感染対策を継続しながら安全な麻酔の提供に努めています。麻酔とは、単に手術中の眠りをもたらすことではありません。痛みを取り除き、有害な反射を抑えて手術が安全に行われるように麻酔薬を使用し、神経ブロックやモニタリングも駆使しています。

麻酔の安全性を保つために、術前に麻酔科医が診察を行って麻酔方法などを説明しています。「麻酔科術前診察」と呼ばれるものです。最近が高齢化がますます進んでおり、心疾患や脳血管疾患、腎不全など様々な合併症を持ちながら手術を受ける方が増えてきました。合併症の状態が安定していれば通常どおりの全身麻酔が可能ですが、前もって麻酔科医が診察、評価しておくことで安心して手術に臨めるでしょう。場合により、別途麻酔科外来にお越しいただく場合もありますので、何卒ご理解の程、宜しくお願い申し上げます。

歯科

加藤 剛士

歯科は令和5年12月に高橋奏多先生がご退職されて、常勤医1人となりました。非常勤医は3名在籍しております。常勤医1人体制となり患者予約間隔が3週間程度となっておりますことをご了承ください。ただし、緊急の場合はできるかぎり診察に努めています。まずはご連絡をよろしくお願いいたします。

患者さん一人一人が安心して歯科治療を受けられるよう、スタッフ一同が日々様々な工夫を凝らしております。

これからも日々精進してまいりますので、今後ともよろしくお願いいたします。



新任医師のご紹介

4月から5名の医師が新しく入職しました。
よろしくお願いいたします。

外科

北

皆さん、初めまして。私は北と申します。この度、貴重な機会をいただき、新しくこちらの病院の外科に赴任させていただきました。

以前は旭川医大病院にて消化管外科(主に上部消化管)を担当しておりました。こちらの病院ではより広い分野の外科医療に携わり、力を尽くして診療にあたりたいと思います。また、ゆくゆくは手術支援ロボットにも積極的に取り組んでいきたいと考えております。

透析医療については、今までほぼ経験がなく、これから勉強しながら経験を積んでいけたらと思いますので、ご迷惑をおかけすることもあるかと思いますが、ご指導のほどよろしくお願いいたします。

こちらの病院の一員として貢献できることを楽しみにしています。新しい環境で皆様と共に働くことを光栄に思っておりますので、どうぞよろしくお願いいたします。



Kengo Kita

健吾

心臓血管外科

松本

北海道大学心臓血管外科での研修を経て、4月より赴任いたしました。出身は小樽市で、大学卒業後は苫小牧、室蘭、函館、釧路など海岸沿いでの地方勤務を経験してきました。心臓血管外科手術のみならず集中治療管理、救急など幅広く診療に従事してきました。専門は末梢血管外科で、透析アクセスだけではなく、閉塞性動脈硬化症などの末梢動脈疾患や、下肢静脈瘤などの診療にも当たらせていただきます。プライベートでは2月に長男が生まれ、慣れない子育てに妻と二人三脚で臨んでいます。キャンプや釣り、音楽フェスなどを趣味としていましたが、今は日々成長していく子供の様子を見るのが喜びです。よろしくお願いいたします。



Ryo Matsumoto

嶺

石垣隆介

お世話になります。2024年度より小児・思春期科に着任いたしました、石垣隆介(いしがき りゅうすけ)と申します。

小児血液疾患の治療、および造血幹細胞移植を学ぶべく、小林良二副院長はじめ諸先生方をお頼りし、遠く内地は出羽の国、山形(やまがた)県山形市という田舎より出てまいりました。山形と申しますとかつて、当地に君臨する時の権力者と名前(苗字)が同じという理由だけで全国で唯一「忍者ハットリくん」のテレビアニメが放映されなかった故事により皆様にも広く知られていることと存じます(実話)。他にも秋になるとその年16歳に達した男女が皆等しく河原へと連れゆかれ、石組みでかまどを作り、里芋を煮る「芋煮」という料理を独力で作り上げることによりはじめて成人と認められる儀式が現存します(ほぼ実話)。若者たちは休日になると連れ立ってイオンモール天童へと遊びに行きます。なんにもないですが良いところではあります。果物やお酒か温泉かお蕎麦がお好きならいっちゃって損はないです。つまりは基本的に北海道の下位互換みたいな感じです。夏は暑いです。最近行政が勘違いして「ラーメン県」なる名乗りを画策してますがそれはさすがにイキりすぎと考えます。山形駅前や周辺で呑んだ後、メのラーメンを召し上がろうとしても選択肢は限りなく乏しいのでご注意ください(乏しい選択肢のうち一つは「札幌ラーメン どさん子」です!)。もしまかり間違っても山形においでの際はよろしければお声がけください。おすすめの飲み屋さん、温泉、サウナ(少ないながら無くはないです)くらいはお教えできようかと思えます。

末筆ながら、皆さんの回復、寛解へ一助となれるようがんばりますので、ご指導ご鞭撻のほど、なんとぞよろしく願いいたします。



Ryusuke Ishigaki



梶川清芽

2024年度より血液内科に赴任いたしました梶川 清芽(かじかわ さやか)です。出身は富山県で、富山大学を卒業しました。卒業後は主に富山県内で勤務しておりましたが、2023年度より北海道に移り、北海道大学に入局いたしました。北海道に居住するのは初めてでしたが、移住して1年が経過し、北海道の食の素晴らしさや住みやすさに感動しております。

自然や芸術が好きで、登山や音楽鑑賞、舞台鑑賞が趣味です。時間があればアウトドアやドライブで北海道の多くの自然を楽しみたいと思っております。また学生時代はテニスや合気道をしておりました。最近は運動からかけ離れた生活をしておりましたが、少しずつ再開し体力をつけて診療に生かせるようにしていきたいと思っております。

日常診療では丁寧な診療を行うよう心がけております。至らない点も多いかと思いますが、少しでも北海道の皆様のお役に立てますよう日々努力し精進いたします。よろしくお願い申し上げます。



Sayaka Kajikawa

野島慎悟

令和6年度より血液内科医として北楡病院に赴任させていただきました、医師5年目の野島 慎悟と申します。出身は札幌市で出身大学は北海道大学になります。2年間の初期研修を釧路で終えたのち、血液内科に入局し、市立旭川病院・北見赤十字病院での勤務を経ての着任となりました。札幌北楡病院は造血幹細胞移植を中心として数多くの血液疾患が集まる病院であり、血液内科として3年目で未熟な部分も多い自分としては不安な部分もございますが、より良い医療を提供できるように精進していきたいと考えています。

また私事ではありますが、初期研修も含め医師となっただけからはずっと市外で勤務してきており、札幌に戻るのが4年ぶりになります。札幌の街並みがだいぶ変わったことに驚くと共に、休暇などは札幌の街も楽しめればと思っております。

改めまして、ご迷惑をおかけする点もあるかと思いますが、皆様のお役に立てるように精一杯努力させていただきますので、何卒よろしくお願いいたします。



Shingo Nojima

新採用看護師のご紹介



第3病棟 堀内 優月

憧れの札幌北榆病院に入職でき、夢だった看護師として、患者さんと関わることができることへの期待に胸を躍らせています。

学生生活はコロナの影響が強く、実習に行っても患者さんと長時間関わることができず、思うようにいかないこともありましたが、その分短い時間で信頼関係を築くためにどのように行動すれば良いかを常に考えてきました。信頼してもらうことは自分が思うよりも難しいものですが、患者さんのお役に立ちたいという思いが伝わるよう、丁寧な看護を心がけ、患者さんが本心を打ち明けられるような環境・雰囲気作りができればと思います。

私は、第3病棟の小児思春期科に配属されました。わからないことばかりで一人前になるには長い時間がかかると思いますが、1日も早く病棟に慣れ、知識や技術を身につけ、患者さん・ご家族の皆さんに頼ってもらえる看護師になれるよう、向上心を持ち日々精進いたします。



第8病棟 中山 直哉

私が北榆病院で新人看護師として働くにあたって、慣れない環境での不安や緊張が多くありつつも、新たな環境での学びに対して前向きな気持ちです。私の看護師1年目の目標は、看護師としてできることを増やしていき、独り立ちを目指すことです。そのためには、看護の知識や技術の基礎をしっかりと固め、わからないことは先輩や上司に相談することを継続したいと思います。

私は、患者さんの非言語的コミュニケーションにも目を向け、患者さんとの一つ一つの対話を丁寧にできる看護師を目指したいと考えます。患者さんの表情や態度から看護師が相手の意図を汲み取ることや本人の言葉を代弁することで、患者さんと医療者との意思や価値観の相違を防ぐことにつながると考えます。そうした関わりを持つことで信頼関係が生まれ、看護師のこの人にケアしてもらいたいと思われるように日々精進していきたいと思います。



第9病棟 木田 綾音

今年から、幼いころからの夢であった看護師として働くことができることに喜びを感じています。今は入職したばかりで、まだまだ分からないことが多く毎日不安や緊張でいっぱいですが、まずは基本的な知識や技術をしっかりと身につけられるよう積極的に学びを重ね、ひとつひとつできることを増やし、一日でも早くチームの一員としての責任と役割を果たすことができるよう努力していきます。

私は、患者さんが安心して療養生活を送ることができるようにするためには、患者さん一人ひとりに寄り添い思いや意見を尊重しながら接すること、質の高い看護実践を行うことが大切であると考えています。自身が大切にしている看護が行えるようにするためにも、先輩方からのアドバイスや指導を真摯に受け止め、日々学習し、看護師としても人としても成長していけるよう一生懸命頑張ります。



外来診察担当一覧

■ 午前 □ 午後

(令和6年4月1日現在)

	月		火		水		木		金		土
	午前	午後	午前	午後	午前	午後	午前	午後	午前	午後	
内科 血液内科 (午前～11:00 午後～15:00 のみ新患可)	太田 小笠原(正) 小笠原(勲) 相庭	小林 太田 日高	小林 小笠原(正) 杉田 小津	岡田 高橋 小津 [SO外来] 小林 (15:00～16:00) (完全予約制)	小林 小笠原(正) 岡田 原田	太田 原田	太田 小林 日高 須藤	杉田 野島 須藤	小林 小笠原(正) 岡田 杉田	小笠原(正) 小笠原(勲) 梶川	休 診
消化器内科 (予約診療) 午前のみ 新患可	片桐 佐賀	大泉 (15:30まで)	佐賀 大泉	高野 齋藤	齋藤 片桐	片桐	高野 野村	片桐 齋藤	片桐 高野	野村 佐賀	
糖尿病代謝内科					※1澤村		※1澤村		澤村		
循環器内科					交替医師		交替医師				
外科	後藤 高橋	高橋	太田 佐藤/服部 太田 (隔週交代)	佐藤/服部 太田 (隔週交代)	目黒 服部	堀江 堀江 北	堀江 北		佐藤 堀江 佐藤 (隔週)	堀江 佐藤 (隔週)	
血管外科	熱田		熱田						松本		
肛門外科	小野寺		山内 (第1・3・5週) 高下 (第2・4週)	堀江	高橋 小野寺	小野寺	小野寺	堀江 高橋	堀江 高橋		
腎臓移植外科 泌尿器科	三浦(9:30～) (予約診療) 東山(午前のみ予約診療)				東山 (予約診療)		三浦(9:30～) (予約診療) 東山	東山 (予約診療)	東山 (予約診療)		
腎臓内科	山田						山田				
整形外科	高橋 大野		東 大野		高橋		東 大野	東 高橋			
小児 思春期科	小林(良) 石垣	堀 石垣	佐野 堀	堀	柳	大島 佐野	[血液外来] 小林(良) (完全予約制)	小林(良) 松島	[血液外来] ※2小林(良) (完全予約制)	柳	
スリープ外来			高橋								
ペインクリニック 緩和科 (完全予約制)					沼澤						
禁煙外来 (完全予約制)		三浦									
歯科 (完全予約制)	加藤		加藤/大畑(第2・4週のみ)		加藤		加藤/北大医師		加藤		

- ※1 糖尿病代謝内科：第3水曜日・第3木曜日は休診となります。ご注意ください。
- ※2 金曜日午後の小児思春期科小林良二医師は「長期フォローアップ外来」「セカンドオペニオン外来」も併せて担当しております。
- ◇ 都合により代診・休診となる場合がございますので事前にご確認をお願いします。

外来予約 電話受付 【平日のみ】 午前 9 時 00 分～ 12 時 00 分 / 午後 13 時 30 分～ 16 時 00 分
予約専用電話 TEL 011-865-0201

歯科予約 【平日のみ】 午前 9 時 00 分～ 11 時 30 分 / 午後 13 時 30 分～ 16 時 30 分
TEL 011-865-8800 (歯科直通)

編集後記

広報誌エルムをご覧いただきありがとうございます。長い冬が終わり、気温20度超えの日も出てきましたね。暖かい日が待ち遠しかったのもあり、とても嬉しいです。さて、今回の広報誌エルムは新年度号となっております。新採用者の意気込みが感じられますので、ぜひご覧ください。(A・K)

社会医療法人 北楡会 札幌北楡病院

診療科目
 外科・消化器外科・血管外科・肛門外科・腎臓移植外科・泌尿器科・内科・血液内科・消化器内科・腎臓内科・糖尿病代謝内科・循環器内科・小児思春期科・整形外科・麻酔科・放射線科・歯科

住 所 札幌市白石区東札幌6条6丁目5番1号
 TEL: (011) 865-0111 FAX: (011) 865-9634

交 通 地下鉄白石駅5番出口から環状通り 北の方へ徒歩5分左手

ホームページ <https://www.hokuyu-aoth.org/>

